



## モッピーだより

特定非営利活動法人 ふれ愛びっく大阪クラブ  
 理事長 川口 衷  
 〒582-0009 柏原市大正 1-4-24  
<http://www.kawachi.zaq.ne.jp/fureai/>

### 第8回全国障害者スポーツ大会

# 快拳 大阪府初の全国制覇!!

平成20年10月11日～13日、第8回全国障害者スポーツ大会「チャレンジ!おおいた大会」において、大阪府が見事初優勝に輝いた。

第1回戦地元大分と対戦したが、アウェーでの開幕戦のプレッシャーを見事はじき返し、4対0で幸先良いスタートを切った。

翌日の2回戦は、東の覇者山梨県、1回戦の好スタートの余波もあったか、常に試合をリード、追いつける山梨の猛攻を振り切って、念願の初めての決勝進出となった。

強豪徳島との決勝戦は、真っ向勝負。チーム一丸持てる力を出し切って見事3対2で勝利、堂々の優勝に輝いた。おめでとう大阪府チーム!!



スコアボードを背にして決勝戦終了後の記念写真



開始式入場行進する大阪府

今回の国体は、すべてにおいて、我々のチームに有利に働きました。  
 日程、対戦相手さらに会場など神懸かり的に進み、あっという間に優勝した感じです。  
 チーム全体が一つになり、積極的に取り組んだ結果だと思えます。  
 また、多くの方々に協力、応援していただきありがとうございました。  
 これからも練習して、さらに強いチームを目指します。  
 今後ともよろしくお願いします。

大阪府監督 丸山英晴さん

# 「2008 ふれ愛グラソフ ジャパンリーグ」開催

## 三重県初代チャンピオンに!!

2008年4月大阪大会を皮切りに、奈良大会(8月)・三重大会(9月)・大阪大会(11月)と熱戦を繰ひろげて、11月23日スタート地点の久宝寺緑地グラウンドにおいて、ファイナル戦が行われ、三重県が初代チャンピオンに輝き賞状と副賞が贈呈された。

また、このリーグの目玉でもある『個人賞』の発表が行われ、その榮譽を讃え、各人にトロフィーが贈呈された。

団体賞	優勝	三重県
	準優勝	奈良県
個人賞	首位打者	長尾淳平(全盲 ワイルドジョーカーズ)
	打点王	西脇克志(弱視 三重県)
	本塁打王	加藤公冶(弱視 三重県)
	最多勝利賞	加藤公冶(弱視 三重県)・井上真也(弱視 ワイルドジョーカーズ)
	最優秀防御率賞	濱野彰浩(三重県)・和田篤範(奈良県)
		和田篤範(奈良県)

### 特別賞 サークスカラーズ

石川県から参加のサークスカラーズは、このリーグ参加に際し、新たにユニホームを調べて臨むなど、その意気込みは大きなものがあり、また、全国のグラソフ仲間に情報を発信、北海道や関東地区からの参加も促し、リーグの魅力を多いに広めていただいた。

この行動には、関係役員から多くの賞賛の声があがり、特別賞として賞状と副賞が贈呈された。

### 最後は仲良く「紅白戦」

11月23日の最終日、オープン参加の「東京バーフライ」を含み6試合が行われ、最後には、全選手が四チームに分かれ、「紅白戦」を行った。

「昨日の敵は今日の友」となり、好天にめぐまれた秋の一日を心ゆくまで楽しみ、一番の大会主旨である「皆で楽しくグラウンドソフトボール」にふさわしい締めくくりの一日となった。





# ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ

特定非営利活動法人 ふれ愛びっく大阪クラブ



ワイルドジョーカーズ



サーカスカラーズ



大阪府



大阪市



三重県



奈良県

## 第 55 回近畿盲学校野球大会

# 大阪市立視覚支援学校優勝!! 全国大会へ



平成20年6月5日(木)～6日(金)、京都府城陽市「城陽総合運動公園」において、「第55回近畿盲学校野球大会」が行われ、大阪市立視覚支援学校が優勝、全国大会への切符を手に入れた。

前年度優勝の和歌山県との決勝戦は、追いつ追われつで、まさに手に汗握る接戦、両者互いに譲らずの好ゲームであった。

2時間10分におよぶ試合は、4対4の引き分け、両者優勝となった。

8月の全国大会出場権をかけての抽選では、大阪市に勝利の女神が微笑み、和歌山県は涙をのんだ。両チームとも行かせてあげたかったのは、大会会場にいる全ての人の気持ちだったと思われる。なお、大阪市は8月に静岡で開催された全国大会では、残念ながら予選リーグで敗退した。

## 常さんグラソフ大会開催!!

—— 前大阪府監督 坂口常雄さん追悼大会 ——

平成20年7月20日(日)、特定非営利活動法人ふれ愛びっく大阪クラブ主催・主管、大阪府社会人チーム協力で"常さんグラソフ大会"が、大阪市立視覚支援学校(大阪市東淀川区)において、故坂口常雄(大阪府前監督 19年8月死去 享年53歳)さんに、縁のある4チームが参加して盛大に開催、和やかな中にも熱戦が繰ひろげられた。

暑い一日であったが、参加者は坂口氏への想いをいただきながら、故人の何よりも愛したグラソフを心ゆくまで楽しんだ。

また、チーム実行委員会の方々の発案で、ゲームなどもあり盛り沢山な一日であった。



集会所での参加者



故坂口夫人による始球式